

平成29年度第1回CFP®資格審査試験
最年少となる 18 歳 2 カ月での合格者が誕生！
の とりょうすけ
～能登亮佑さん(18 歳)早稲田大学高等学院 3 年生～

日本FP協会(正式名称:特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 理事長 白根壽晴)は、平成29年度第1回CFP®資格審査試験(以下、本試験)を実施し、最年少となる18歳2カ月・高校3年生での合格者が誕生しました。これまでの最年少合格は18歳9カ月・大学生(受験当時/平成26年)でしたが、それを7カ月更新しました。

本試験で新たに誕生した最年少合格者は、早稲田大学高等学院3年生の能登亮佑さんです。能登さんは、政治や経済を横断的に理解することのできる知識を身に着けたいという思いから、学習分野が多岐にわたるFP(ファイナンシャル・プランナー)資格の勉強を始め、今回見事にCFP®資格審査試験の全6課目に合格されました。今回の合格について「ゴールではなく、スタートだと思っています。本試験の勉強を通じて、国が行っている社会保障や税制をはじめとする諸政策の理念や中身に触れ、その運用のあり方や問題点などにも目を向けることができました。今後も、日々変動する社会の動きをとらえるとともに、日本の社会問題について公共性の観点から更に学びを広げていきたいと考えています。」と更なる意欲を燃やしています。また、将来については、「現代の日本に溢れている社会問題の本質的な原因を紐解き、解決方法を提案することで社会の発展に寄与していきたいと考えています。」と語っています(能登さんへのインタビュー詳細は2ページをご覧ください)。

本試験の受験申込者数は8,835名、受験者数は7,111名でした。そのうち、本試験で全6課目合格となった方は493名で、受験者総数(7,111名)に対する全課目の合格者(493名)の輩出率は6.9%でした。

受験申込者(8,835名)の業態割合は、証券会社28%、保険会社・保険代理店26%、一般の事業会社・協同組合が12%、銀行・信金等9%、FP事務所・士業事務所が7%、不動産・住宅が5%、官公庁・学生・主婦・その他が13%となっており、金融機関に勤務する方以外でも多くの方が合格を目指しています。

CFP®資格審査試験は、平成25年11月実施分より20歳未満の方も受験可能となりましたが、現在までに10代(受験当時の年齢)での全6課目合格者は2名のみとなっています。なお、本試験の合格者は、今後CFP®エントリー研修を受講修了し、かつ3年の実務経験要件を申請し、登録することでファイナンシャル・プランナーの上級資格であるCFP®資格を取得することができます(CFP®資格の認定要件や試験概要等は【別紙1・2】をご覧ください)。

※CFP®資格は、サーティファイド ファイナンシャル プランナー®資格の略称で、1972年に米国で創設されたファイナンシャル・プランナー資格であり、世界で認められた共通水準のファイナンシャル・プランニング・サービスを提供できることの証明です。また、日本では、近年、金融機関をはじめとしてCFP®資格に高い評価をいただいております。就職・転職等においても、有用な資格のひとつとなっています。

◆本件に関するお問合せ先				
担当	日本FP協会 広報部広報課 金田・田和	TEL	FAX	E-mail
		03-5403-9739	03-5403-9795	info@jafp.or.jp

※CFP®、CFP®、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®、およびサーティファイド ファイナンシャル プランナー®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.(FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

特定非営利活動法人(NPO法人)日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス5F TEL 03-5403-9700(代) FAX 03-5403-9701

<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-4-19 マニユライフプレイス堂島5F TEL 06-6344-8063 FAX 06-6344-8065



の と りょうすけ
能登 亮佑さん(18歳)

平成 29 年度第 1 回 CFP®資格審査試験で、
全 6 課目合格した能登亮佑さん(18 歳)へのインタビュー

Q.FP 資格をお知りになったきっかけやエピソードを教えてください

中学 3 年生のときに生徒会長を務める中で、「学校」や「クラス」などの小さな社会が抱える問題について考えると同時に、「国」という大きな社会の動きが反映される時事にも興味を湧きました。当時は消費税増税が行われるなど、社会保障と税制の大きな転換期であり、FP(ファイナンシャル・プランナー)が執筆した関連コラムを目にする機会もありました。それをきっかけに、現代の政治現象や経済現象を分野横断的に理解することのできる FP 知識の必要性に気づき、FP 資格取得のために勉強をはじめました。

Q. CFP®資格審査試験を受験しようと思われた動機を教えてください

CFP®資格審査試験は 1 課目ずつ受験できるため、自分のペースで勉強を進めつつ、それぞれの課目についてより専門的な知識を学ぶことができるのではないかと考えて受験を決意しました。

Q.合格に向けて苦労した点など、エピソードがあれば教えてください

学生生活との両立に苦労しました。特に部活動が週末にも及び、勉強時間が大きく制限されていました。そのため、時間的な余裕が無く、少しずつ焦りが生まれてしまい不安を感じることもありました。

そこで、試験勉強という枠にとらわれずに、自分の興味関心と連動させる形で学習していくことを心がけました。複雑な学習事項はその要点を図式化し、不動産運用設計の課目では学習した法令の適用地区を実際にフィールドワークすることによって、ただ暗記するだけでは縁遠く感じられるような内容も身近に捉えることができました。初心にかえて新たな事を知る本来の楽しさに気づき、少しずつ自信をつけながら試験勉強を進めることができました。

Q.今後、CFP®資格をどのように活かしていきたいですか

合格の知らせを聞いた時は、率直に嬉しかったです。しかし、これはゴールではなくスタートだと思っています。本試験の勉強を通じて、国が行っている社会保障や税制をはじめとする諸政策の理念や中身に触れ、その運用のあり方や問題点などにも目を向けることができました。今後も、日々変動する社会の動きをとらえるとともに、日本の社会問題について公共性の観点から更に学びを広げていきたいと考えています。

将来的には、現代の日本に溢れている社会問題の本質的な原因を紐解き、解決方法を提案することで社会の発展に寄与していきたいと考えています。

CFP®資格審査試験合格までの道のり

2016 年 2 月	AFP 資格認定
2016 年 6 月	「金融資産運用設計」「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」 「リスクと保険」「相続・事業承継設計」合格
2017 年 6 月	「不動産運用設計」「タックスプランニング」合格

【別紙 1】

◆CFP®資格の認定

CFP®資格は、FP として必要かつ高度な知識と経験を有し、あらゆる顧客ニーズに対し適切なアドバイスと提案書の作成ができ、また他の FP の規範となる確固たる職業倫理を身につけている FP に与えられます。北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアを中心に世界 24 カ国・地域(2017 年 8 月現在)で導入されており、日本においては日本 FP 協会が認定しています。

【CFP®資格の認定要件】以下の 4 点を満たす必要があります

- 試験: 日本 FP 協会が実施する CFP®資格審査試験の全 6 課目に合格すること。
- 教育: 日本 FP 協会が実施する「CFP®エントリー研修」を受講・修了すること。
- 経験: 通算 3 年以上の実務経験があること。
- 倫理: 日本 FP 協会が定める「会員倫理規程」などの諸規程を順守すること。

※資格更新制度があり、資格を維持するためには 2 年ごとに所定の継続教育や実務研修などの修了が必要。

◆CFP®資格審査試験の概要

【受験資格】 AFP 認定者または日本 FP 協会が指定する大学院所定の課程修了者

【試験科目】 6 科目

- (1) 金融資産運用設計
- (2) 不動産運用設計
- (3) ライフプランニング・リタイアメントプランニング
- (4) リスクと保険
- (5) タックスプランニング
- (6) 相続・事業承継設計

※試験は年 2 回(6 月と 11 月)実施し、1 科目ずつの受験及び合格が認められています。

【試験時間】 1 科目 2 時間。1 日 3 科目、2 日間にわたって実施します。

	試験時間	試験科目
試験 第 1 日目	9 時 30 分～11 時 30 分	金融資産運用設計
	12 時 30 分～14 時 30 分	不動産運用設計
	15 時 30 分～17 時 30 分	ライフプランニング・リタイアメントプランニング
試験 第 2 日目	9 時 30 分～11 時 30 分	リスクと保険
	12 時 30 分～14 時 30 分	タックスプランニング
	15 時 30 分～17 時 30 分	相続・事業承継設計

【出題形式】 各科目の出題数は各 50 問、配点は 1 問 2 点の均一配点(100 点満点)です。

マルチプルチョイス方式(四肢択一式)です。

【受験地】 全国 14 地区 ※平成 29(2017)年 6 月時点

(札幌、仙台、宇都宮、東京、新潟、金沢、静岡、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、熊本、那覇)

【受験料】 受験料は下表のとおりです。

受験出願科目数	1 科目	2 科目	3 科目	4 科目	5 科目	6 科目
受験料(税込み)	5,400 円	9,720 円	14,040 円	18,360 円	22,680 円	27,000 円

※1 科目 5,400 円です。2 科目以上の出願時は、1 科目ごと 4,320 円が受験料として加算されます。

【試験問題・模範解答】 試験日翌営業日の午前 10 時に公表します。

◆CFP®資格審査試験／合格状況

実施年度	(a) 受験者数	(b) 合格者数	(c) 合格者輩出率(%)
平成 28 年度 第 1 回	6,235	483	7.7
平成 28 年度 第 2 回	6,308	481	7.6
平成 29 年度 第 1 回	7,111	493	6.9

※「合格者輩出率」: CFP®資格審査試験の 6 科目について、科目別合格の累積も含め全科目合格した者(b)が、その時の受験者数(a)に対してどの程度の割合かを示した数値。(合格者輩出率(c) = (b) ÷ (a) × 100)

CFP®資格について

◆世界で信頼されている CFP®資格

CFP®資格は、世界で認められた共通水準のファイナンシャル・プランニング・サービスを提供できる証明です。ファイナンシャル・プランニングの先進国である米国で、この CFP®資格は最も代表的で信頼されるファイナンシャル・プランナーのライセンスとして国民に認知され、プロフェッショナル資格として高い評価を得ています。

CFP®資格は、FP 資格の中でも「4E(教育=Education、試験=Examination、経験=Experience、倫理=Ethics)」に基づく要件を満たすことで取得できる資格です。ファイナンシャル・プランニングの各分野に関する高度な教育や CFP®資格審査試験の合格、日本 FP 協会が定める「会員倫理規程」等諸規程を順守する約定書の提出などの要件を満たした者が取得できます。また、資格を維持するためには、2 年間で所定の継続教育を受け FP 知識の維持向上等が求められます。

そのため CFP®認定者は、高度な知識と経験をもち長期的かつ総合的な視点で適切なアドバイスを提供し、他の FP の規範となる確固たる職業倫理を身につけているプロフェッショナルとなります。国内では当協会だけが資格認定できる「FP の頂点」とも言える資格です。2017 年 8 月 1 日現在の CFP®認定者数は、21,216 人です。世界 24 カ国・地域で CFP®資格が導入されており、日本は、世界第 2 位の CFP®認定者数となっています。以下の図表をご参照ください。

＜世界の CFP®認定者数データ(2016 年 12 月末現在)＞

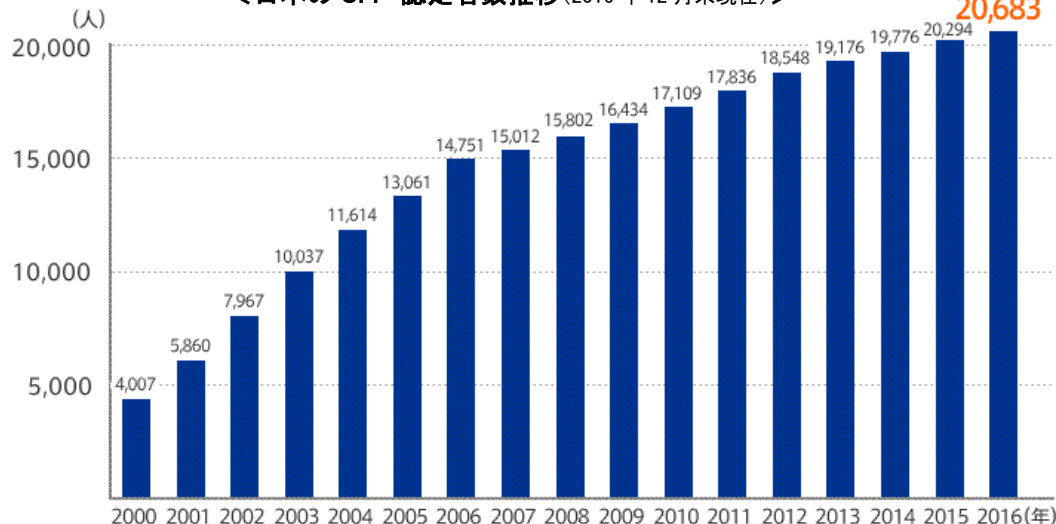
(2016年12月末現在)

国・地域	CFP®認定者数	FPSB (旧CFPカウンスル) 加盟年	国・地域	CFP®認定者数	FPSB (旧CFPカウンスル) 加盟年
米国	76,760	1973(*1)	インドネシア	1,405	2006
日本	20,683	1992	台湾	983	2005
中国	16,878	2006	英国	962	1995
カナダ	16,582	1996	シンガポール	888	1998
オーストラリア	5,601	1990	アイルランド	474	2008
南アフリカ	4,660	1998	オーストリア	320	2002
香港	4,620	2000	ニュージーランド	304	1996
韓国	3,957	2000	スイス	294	1999
オランダ	3,649	2009	イスラエル(*2)	224	アソシエート・メンバー
ブラジル	2,919	2002	タイ	181	2009
マレーシア	2,598	2000	コロンビア	10	2013
インド	2,005	2001	トルコ	-	アソシエート・メンバー
フランス	1,670	1997	合計	170,101	-
ドイツ	1,474	1997			

(*1)最初のCFP®認定者誕生年

(*2)FPSBがイスラエル組織と共同で認定

＜日本の CFP®認定者数推移(2016 年 12 月末現在)＞



CFP®認定者は、日本 FP 協会のホームページから検索いただけます。 <https://www.jafp.or.jp/confer/search/cfp/>